

高等部 2 年

進路学習の流れ

○高等部 2 年 前期

一般就労を希望	福祉サービスを希望
<p>4 月～5 月 「進路の手引き」 「栗原地域の福祉施設」を配布</p> <p>2 月の進路面談を振り返りながら、進路希望調査を提出してもらいます。事前に見学をしたい人や、相談したいことがある人は早目に担任まで相談しましょう。</p> <p>5 月 現場実習の申し込み</p>	
<p>6 月 前期現場実習</p>	
<p>総合（進路学習）</p> <ul style="list-style-type: none">・働くために必要な力・進路決定までの流れ・面接の練習、ビジネスマナーなどについて学びます。	<p>総合（進路学習）</p> <ul style="list-style-type: none">・働くために必要な力・実習場所の確認・仕事内容などについて学びます。
<p>6 月 前期現場実習</p> <p>協力企業や施設において、2 週間の実習を行います。前年度の課題を振り返り、実りのある実習にしましょう。特に一般就労を目指す人は、○挨拶は元気よく ○休まないなどは当たり前のことです○必要なことはメモする ○前日、指示された内容を振り返って目標を立てるなど、レベルアップを図りましょう。（現場実習先に実習中の様子を評価していただきます。）</p>	
<p>7 月～8 月</p> <p>授業参観（個別面談）・進路希望調査</p> <p>前期現場実習の成果と課題や学校生活の様子を振り返りながら、職業の適性について話し合いをします。それを踏まえ、後期現場実習ではどんな所で実習を行いたいと考えているのかについても話をするので、保護者の方と相談し、自分の考えを伝えておきましょう。</p>	
<p>8 月・10 月</p> <p>障害者能力開発校オープンキャンパス</p> <p>他、見学は随時受付しています。</p>	
<p>8 月 職場施設見学</p>	
<p>栗原市及び近隣の企業を見学します</p>	<p>栗原市及び近隣の施設を見学します</p>

○高等部 2 年 後期

一般就労を希望

福祉サービスを希望

9月 現場実習の申し込み

10月 現場実習

協力企業や施設において、2週間の実習を行います。2年生は3回目の実習になります。そろそろ卒業後の進路先を見越して実習を行う人、もう一度自分の可能性や適性を見極めたいので頑張る人が出てくると思います。2週間の実習の中で、**職場の雰囲気や作業内容、通勤経路**など自分に合っているかどうか判断しましょう。実習先からも認められ、「自分に合っている」「是非ここで働きたい」と思った人は、担任に相談し、3年生の実習でもう一度頑張ってみるのもいいかもしれません。

残す実習は後2回です。進路の方向性を決める上で大切な実習になりますので頑張りましょう。

2月 授業参観（個別面談）

後期現場実習の成果と課題について担任と保護者で確認し、進路の方向性について相談します。

I 卒業後の進路先として次の五つが挙げられます。自分の進むべき進路を保護者の方と相談して決めましょう。

- ① 一般就労（企業系）
- ② 進学（宮城障害者職業能力開発校・いずみ高等支援学校・支援学校仙台みらい高等学園等）
- ③ 就労移行支援（NPO ステップアップ、ふくし工房 かつらっぱ）
- ④ 就労継続支援（A型事業所 B型事業所）
- ⑤ 生活介護事業所



II 次に具体的に働きたい場所について相談しましょう。

- ①企業や施設のある場所の確認

※一般就労は自力通学になります。必ずしも在学中に運転免許を取得できるとは限りません。
公共交通機関を利用しての行き方も確認してください。

- ②仕事内容の確認

※場合によっては見学も可能です。進路担当の先生まで相談してください。

2月～3月 進路面談

進路指導部長、担任、保護者、本人の4名で後期現場実習を振り返りながら、進路の方向性について相談します。また、3年次の実習先の希望も確認しますので、卒業後も視野に入れながらどんな所で実習をしてみたいのか考えておきましょう。